

平成24年9月5日(水)衆・内閣委における答弁(未定稿)

(略)

後藤議員 再就職等監視委員会、今回の法案でちょっと違う体制になりますけども、この監視委員会については、なかなか委員の任命が難しくてできなかったわけですけども、この3月に発足をいたしました。これについては、定常業務が若干ありますけども、基本的には、この再就職規制に反するようなことがあったときに、これを捕まえるというのが、私は仕事だと思っておりますが、あっせんについては禁止されています。あっせん禁止違反を、この再就職等監視委員会がきちんと見つけだせるかどうかということが問われるわけでありまして。発足が3月でありますから、少なくとも1年以内ぐらいに、具体的にここのこれがあっせん違反じゃないかというようなことを挙げていただきたいと思っておりますし、あっせんに限らず、よからぬ法律に反することを挙げていただきたいと思っておりますが、その上では、各省に聴いてどうなっていますかというようなことをやるようでは、泥棒にどこに盗みにいきますかみたいなのを聴くようなもので、泥棒に例えるのはよろしくありませんけども、直接この委員会がいろんな調査をしていただきたい。

そういう意味では、今回公益法人ですとかいろんな事業者に3代連続同じ役所から行っているところには全部挙げてくださいというような調査をしていただきました。このようなところについては、表向きのあっせんはないけれども、実は裏でやっているんです。裏でやらなければこんな同じところに何代も行くことはありえません。既に行ったOBが呼び寄せというような形で、「君、次どうかね。」というようなことをやっているわけです。そこには、実は法律違反すれすれの行為が必ず存在します。そういう観点からしますと、この委員会におかれましては、3代連続調査ぐらいは、直接してはどうでしょうか。今、総務省がやっていますけれども。あるいは、我が党の行革調査会なんかの委員の中で、例えば原子力の関係ってお金がじゃぶじゃぶで、向こう側についている公益法人なんかにお金がついて、そこに天降り行っていると、どうもその辺が怪しいと見たら、そこを徹底的に調べ上げてどうなっているんだと、これはむしろ政治家側がやってきました。この再就職等監視委員会は、正にそういうことをやっていただかなくてはいけないと思っておりますけども、この調査を、権限もありますから、どういう形でやっていくのかについて、その強い意志を示していただきたいと思っております。委員長。

羽柴委員長 お答えをいたします。ご指摘のとおり、私を含めた委員5人が今年の3月に任命をされまして、委員会が実質的に発足したところから、実際の委員会の活動が始まっております。私を含めまして委員一同、それから事務局の職員、みんな一生懸命ですね、委員会の権限を厳正に行使するように頑張っております。

具体的な規制違反についての調査の方法とか内容等については、これは事柄の性質上、あまりここで申し上げるわけには行きませんが、鋭意、情報を収集し、必要があれば更に調査をするということ、実際に始めております。例えば、私どもの委員会のホームページをご覧いただきたいと思うんですけども、ホームページには委員会の活動内容をお知らせするだけではなく、具体的な規制違反に関連する情報があれば、是非、委員会にお寄せいただきたいということで、情報を提供していただくためのページも設けてございます。そういうことで一生懸命、積極的に、能動的に情報収集活動もいたしております。

3代連続ポストについての調査についてお尋ねでありますけれども、ご承知のとおり、再就職等の状況を定期的に公表するというシステムが現在できておりまして、この情報の取りまとめの事務は、これもご承知のとおり総務省が担当されております。3代連続ポストということも当然そういった総務省の事務に関連するものでございますので、従来、総務省が担当していらっしゃるという風に私は理解しておりますし、また、それが多分効率的なことであろうという風に思います。もちろん、委員会として必要があれば、様々な調査をいたすのはやぶさかではありませんけれども、そういった個々具体的な活動については、今、あまり詳しく申し上げるわけにはいきませんが、必要な活動は、是非、積極的かつ能動的に、今までもやっておりますし、これからもやっていきたいという風に考えておりますので、是非、ご理解をいただきたいと思っております。

後藤議員 委員長、お越しいただいてありがとうございました。

是非、ホームページに書いてあるから、ここに密告してくださいというのは、当たり前であって、そういう受け身の態勢だけではなくて、肉食動物になって積極的に取りにいていただきたい。検察官であり、警察であります、皆様方は。その気概でお願いしたいと思います。

(略)